



宇宙まちづくり推進 「Kii Space HUB」事業のご紹介

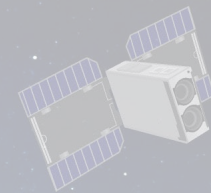
2025年11月26日



和歌山県

Wakayama Prefecture

**商工労働部 企業政策局
成長産業推進課 産業人材班**



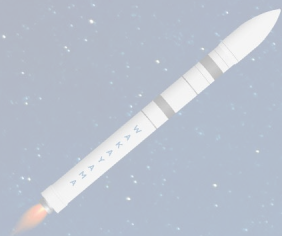
目次

1 国内外の宇宙産業の動向

- ー世界
- ー日本

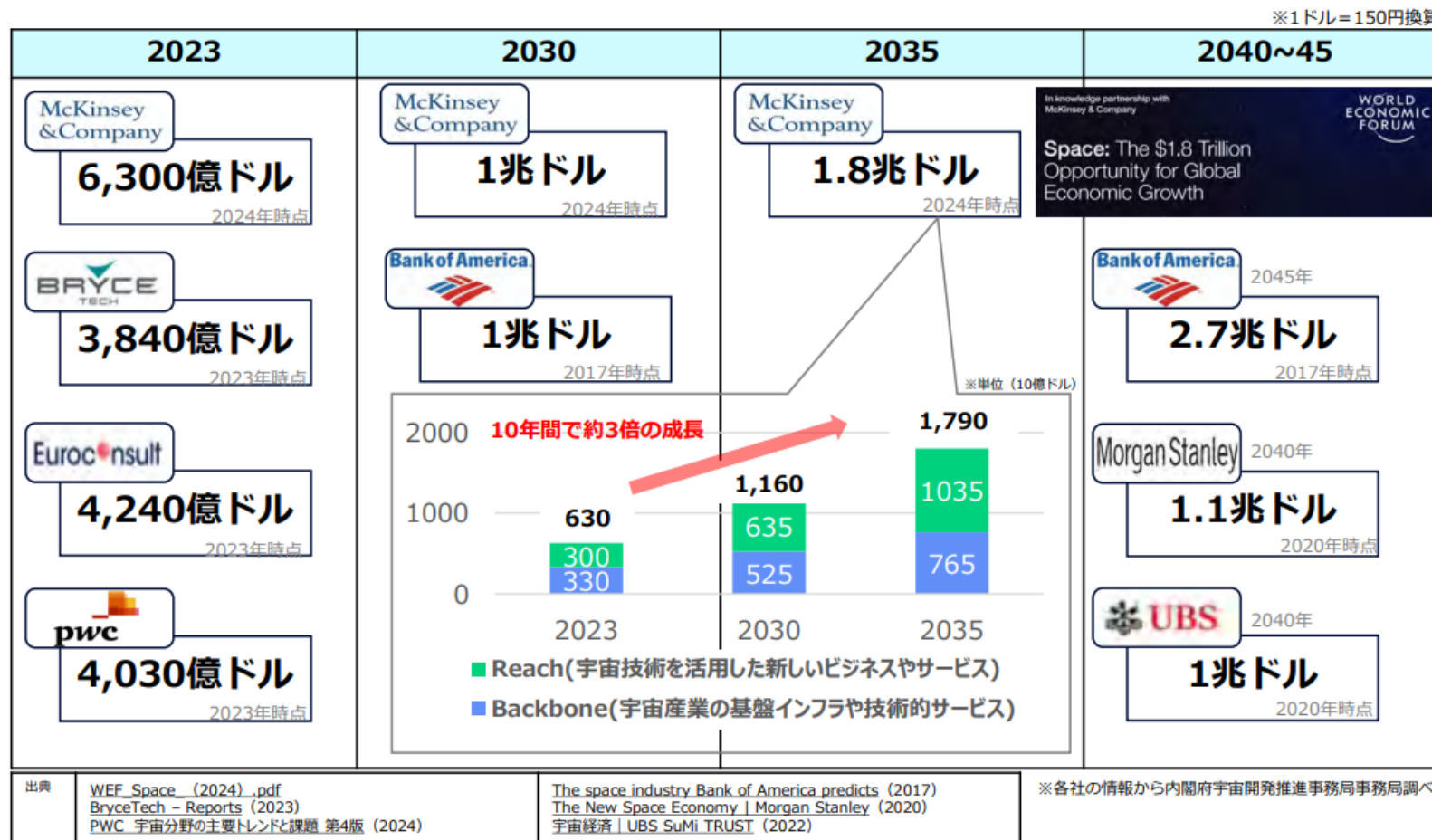
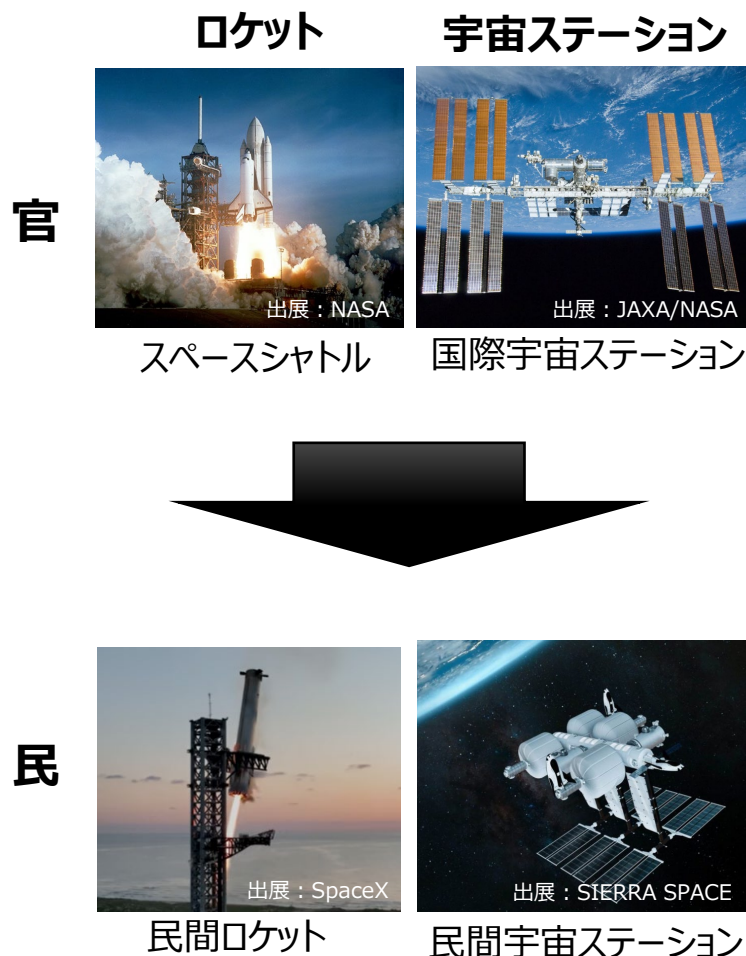
2 和歌山県の宇宙の取組

- ースペースポート紀伊
- ー宇宙教育
- ーKii Space HUB
- ー宇宙アクションプラン



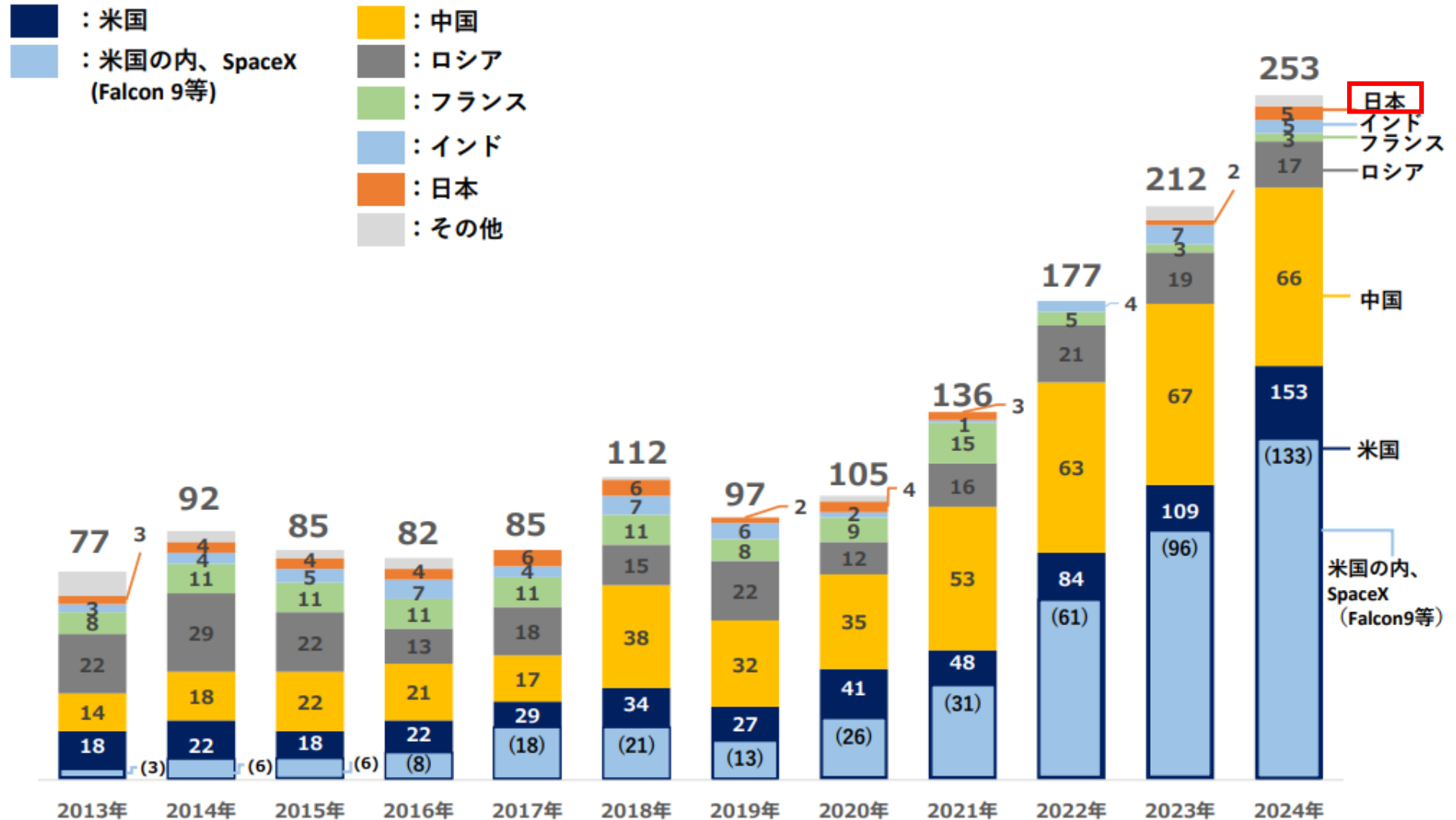
世界の宇宙産業は成長産業

- 冷戦以降、技術の民間開放等により、宇宙開発の中心は官から民へ
- 宇宙産業の規模は2030年～2040年に約1兆ドル（約150兆円）になると予想



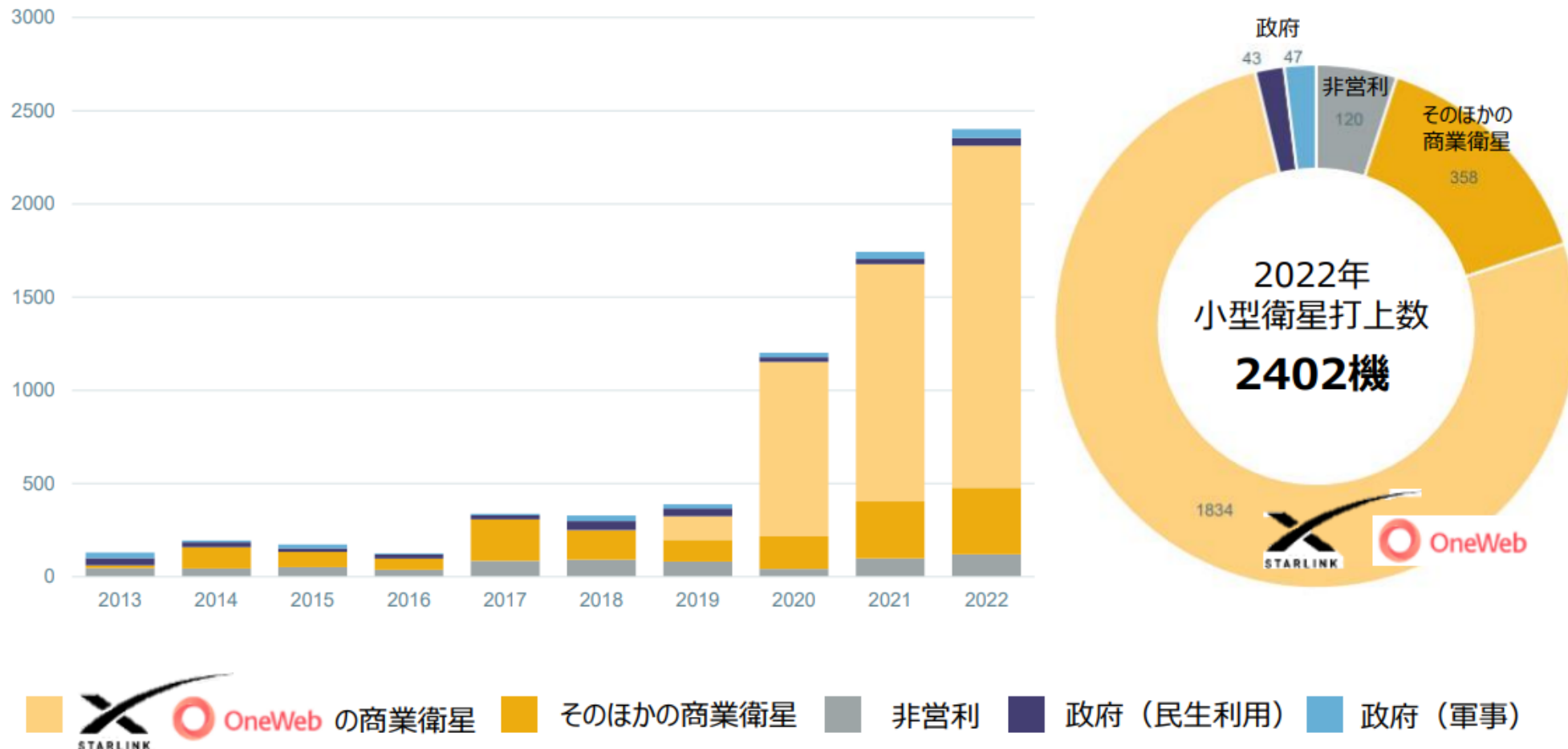
世界のロケットの打上げ機数

- 米・中のロケット打上数が大幅増加の一方、日本の打上数は伸び悩みが続いている



世界の衛星機数

- 衛星コンステレーションの構築が進み、**商業衛星**（黄色部分）の割合が**年々増加傾向**
- 特に**米国**のスターリンクとワンウェブの打上げ機数の**増加**が顕著



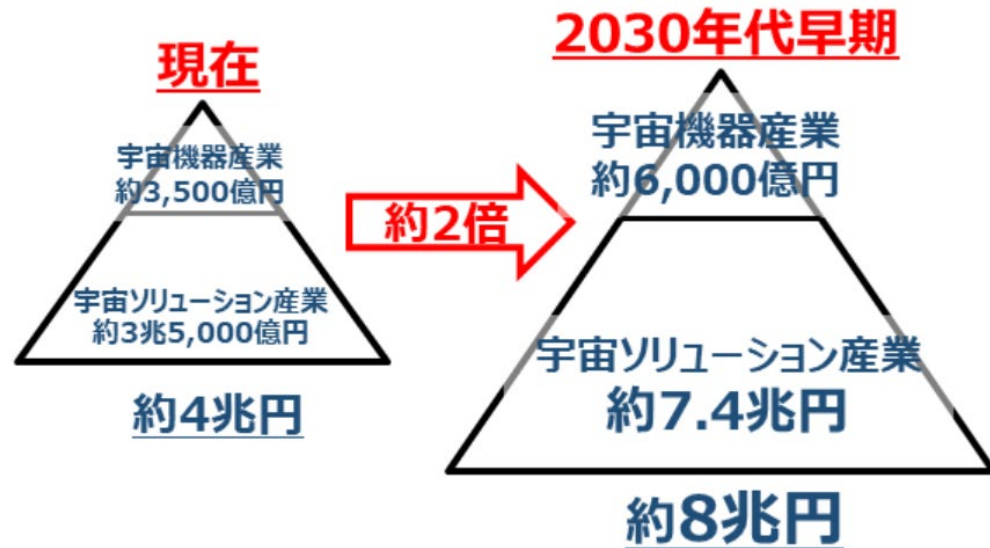
出典：「Smallsats by the Numbers 2023」Bryce 17

国内の宇宙産業の動向

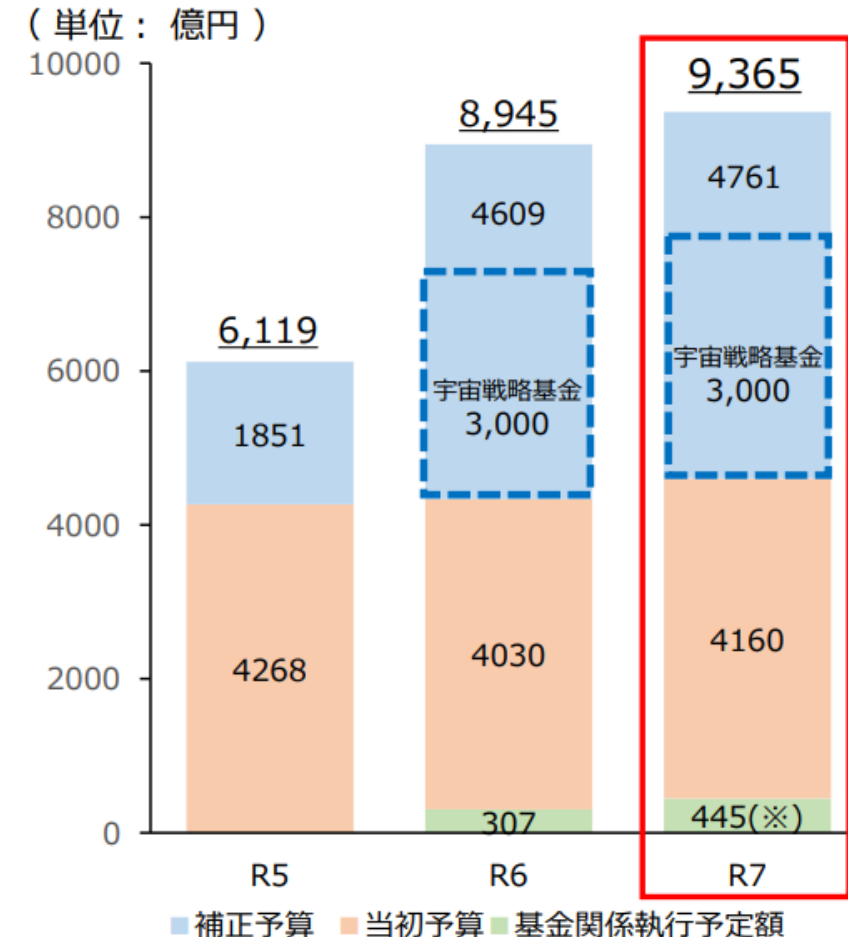
- 国内の宇宙産業の規模は2020年の4兆円から**2030年代早期に8兆円**と予想
- 政府予算においても宇宙戦略基金の設立もあり、**年々増加傾向**

・政府予算の推移

・国内の宇宙産業の規模



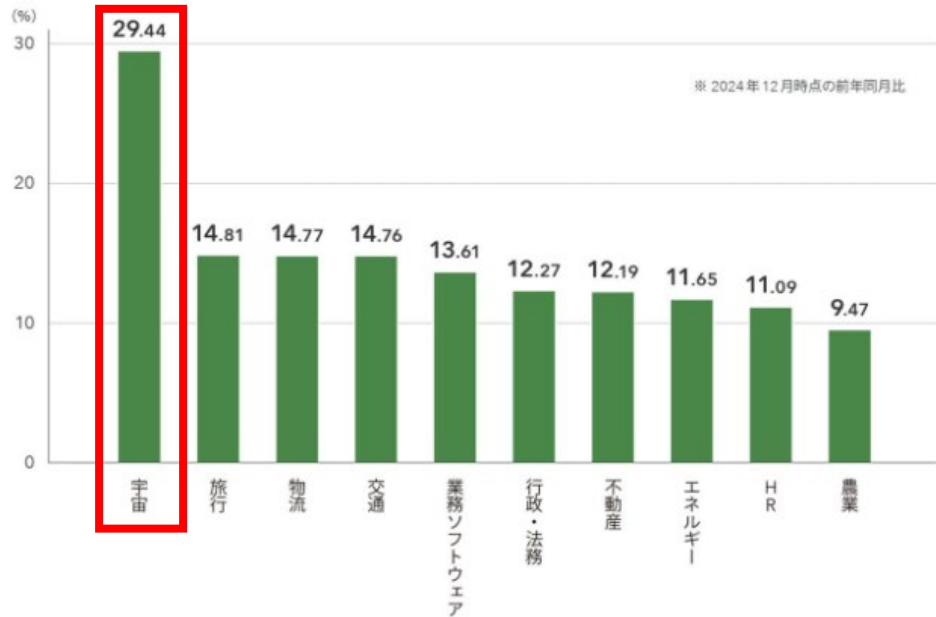
(出展) 日本航空宇宙工業会、「令和3年度宇宙産業データブック」等より引用し、内閣府が試算



日本のスタートアップ従業員について

- 2024年のセクター別従業員数の増加率は「宇宙産業」が約30%増でトップ
- 政府支援策（宇宙戦略基金、SBIR等）もあり、**ロケットメーカー**の増加数が顕著

セクター別 従業員数の増加率（上位）



2024年従業員増加数ランキング

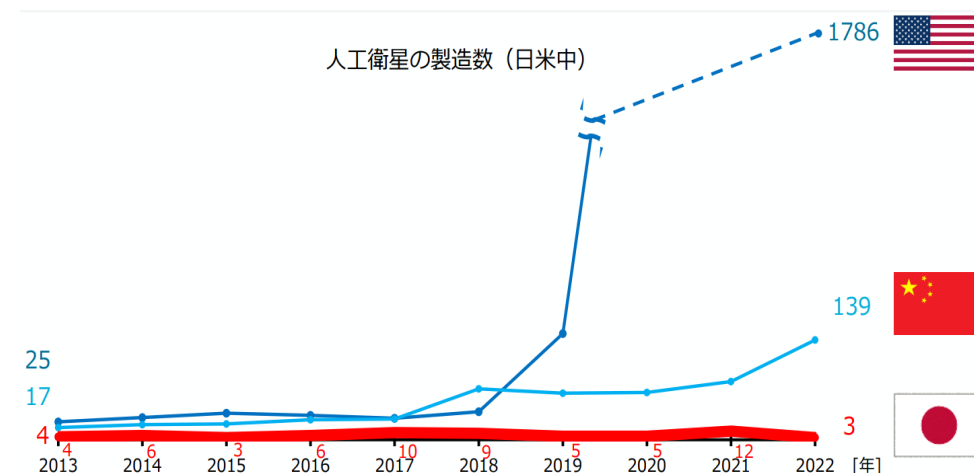
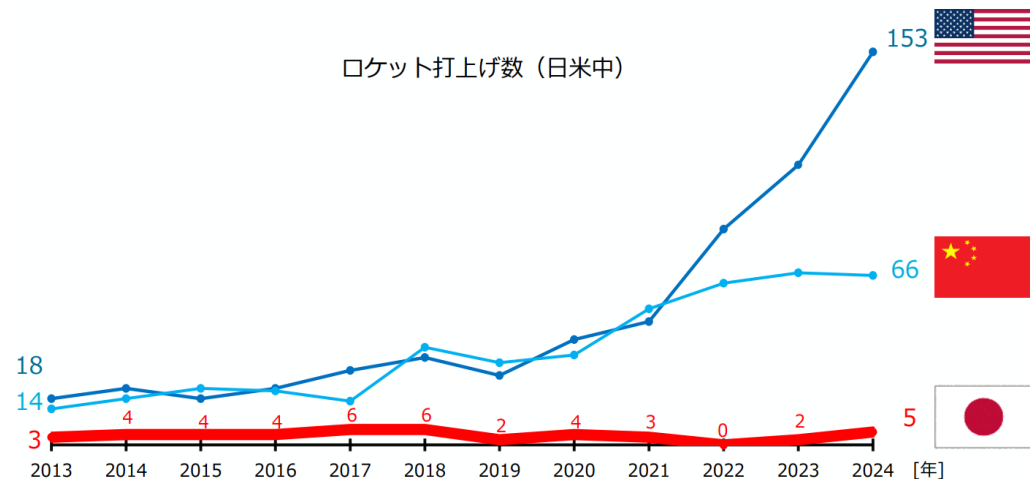
企業	カテゴリー	増加数
1 将来宇宙輸送システム株式会社	その他宇宙	+50人
2 株式会社岩谷技研	その他宇宙	+42人
3 株式会社SPACE WALKER	ロケット	+37人
4 インターステラテクノロジズ株式会社	ロケット	+33人
5 Space BD 株式会社	衛星	+24人
6 株式会社Synspective	衛星	+23人
7 株式会社アークエッジ・スペース	衛星	+20人
8 株式会社天地人	衛星	+18人
9 Letara 株式会社	衛星	+14人
10 株式会社アクセルスペース	衛星	+12人

※ 2023年12月から2024年12月までの期間を集計

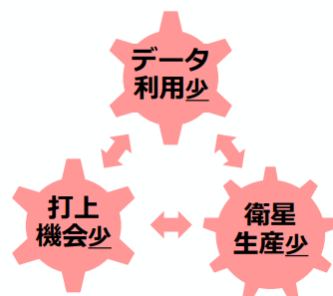
出典：[日本のスタートアップ従業員数、2024年の増加率1位は「宇宙産業」-ケップルが動向を解説 - UchuBiz](#)

国内の宇宙産業の課題

- ロケットの打上げ数、人工衛星の製造数、衛星データの利用数が少なく「三すくみ」の産業構造
- 持続的な成長のために、「好循環」な産業構造への変革が課題



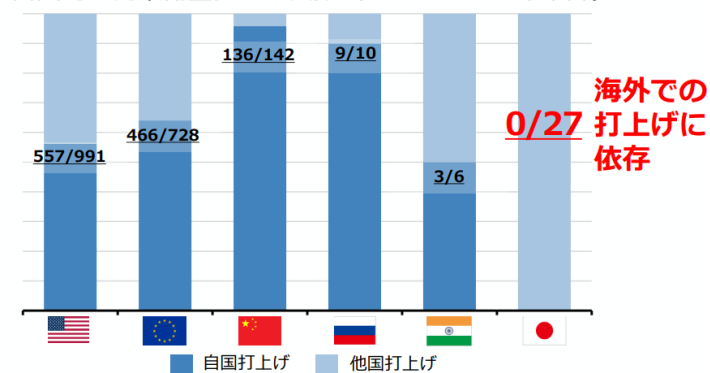
「三すくみ」の産業構造



「好循環」な産業構造



自国での商業衛星打上げ回数（2013－2022年累計）



Content

1 国内外の宇宙産業の動向
ー世界
ー日本

2 和歌山県の宇宙の取組
ースペースポート紀伊
ー宇宙教育
ーKii Space HUB
ー宇宙アクションプラン

Kii Space HUB

和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

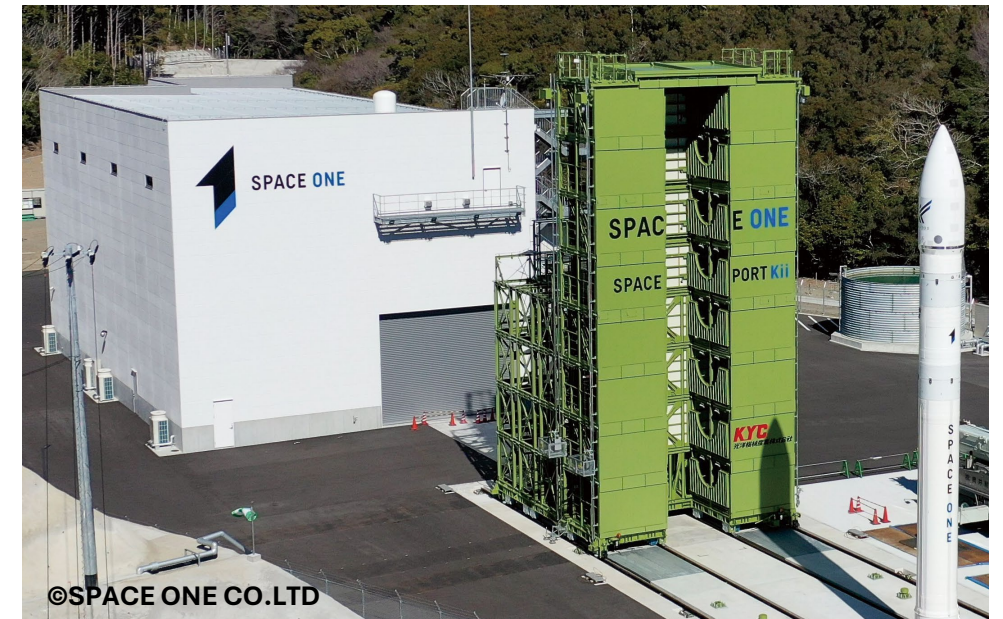
スペースポート紀伊

スペースポート紀伊 概要

- 所在地：和歌山県串本町
- 運営会社：スペースワン株式会社 設立：2018年
- 完工時期：2021年
- 日本初の民間ロケット発射場



総合司令塔



ロケット組立棟

- 2021年串本町にスペースポート紀伊が完成し、『宇宙宅配便』を事業化
- ロケットの打上げのみならず、波及する周辺産業含めて地域振興の起爆剤として期待
- 現在、カイロスロケット3号機の打上げ成功に向けて全力で取り組んでいる

4つの特徴

① 信頼性

日本が長年に渡り蓄積してきた個体ロケット技術を継承・活用した高い信頼性

② 即応性

固体燃料ロケットの特性を活かした世界最短、打上げの最高頻度を実現
※契約から打上げまで1年、衛星受領から4日で打上げ

③ 柔軟性

専用の小型ロケットと専用の射場により
「いつでも」、「どの軌道でも」を実現

④ 低コスト

部品点数が少ない固体ロケットによる低コスト



スペースワンの概要

本社	東京都港区芝公園
設立日	2018年7月
代表者	代表取締役社長 豊田 正和
事業内容	(1) 小型衛星用の宇宙輸送システムの開発 (2) これを用いた宇宙輸送サービスの事業化 (3) その他これに付随・関連する事業

カイロスロケット概要 (Kii-based Advanced & Instant ROcket System)

- 基本構成：固体燃料3段式＋液体推進系キックステージ (PBS)
- 高さ：約18m 全備重量：約23t 直径：1.35m
- 人工衛星打上げ能力：太陽同期軌道 (SSO) 150kg
地球低軌道 (LEO) 250kg

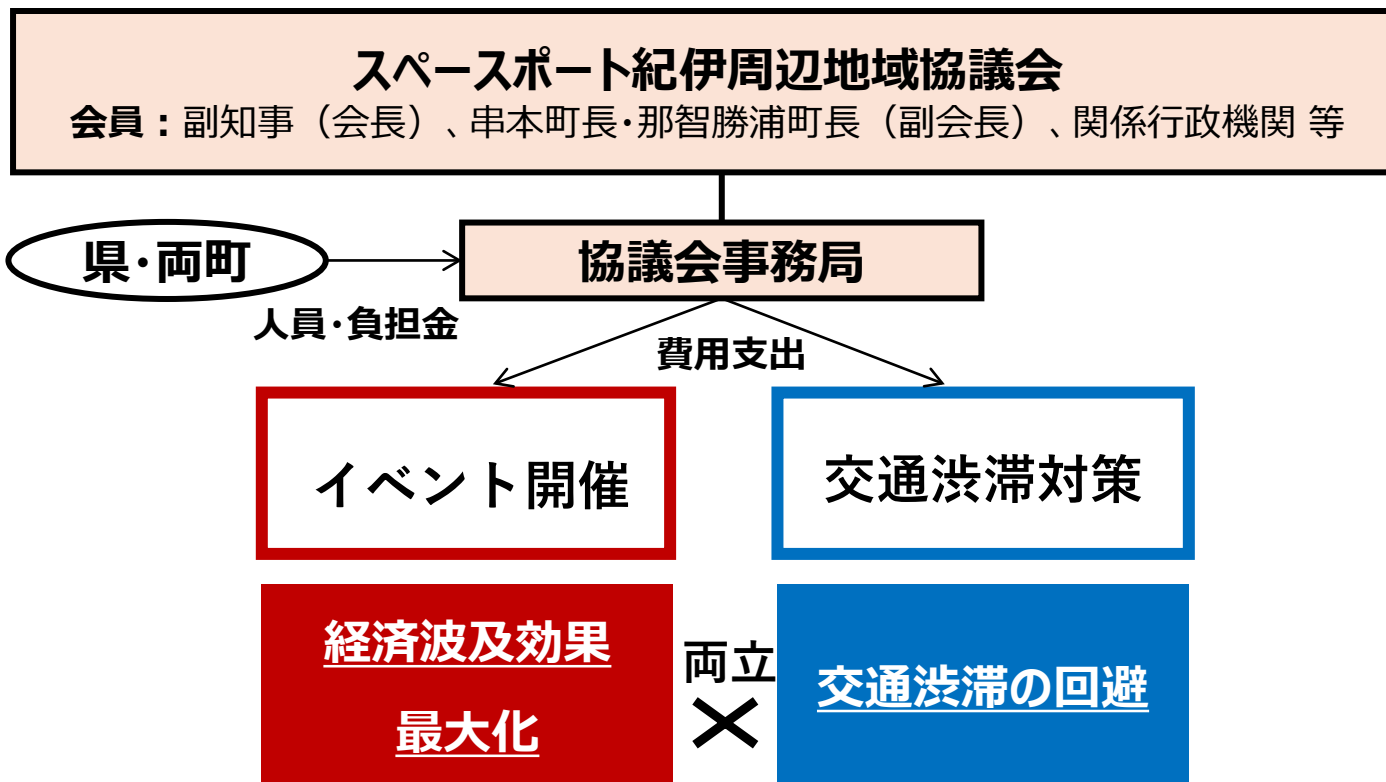


スペースポート紀伊周辺地域協議会

- 地元としてロケット打上げをサポートするため、スペースポート紀伊周辺地域協議会を組織
- 協議会では打上げを契機とした経済波及効果の最大化と交通渋滞の回避の両立を目指し、打上げ当日の見学イベント開催と交通渋滞対策を会員間で連携して実施

※ 協議会事務局は、和歌山県、串本町、那智勝浦町で分担して人員・予算を負担

見学場



サテライト会場



交通渋滞対策イメージ



カイロスロケット2号機の打上げ

- 2024年12月14日 打上げ当日、上空の強風のため延期を決定
- " 15日 打上げ当日、上空の強風のため再延期を決定
- " 18日 11時00分00秒に打上げ。打上げ80秒過ぎ、1段目のノズルの駆動制御に異常が発生。
2分21秒後に1段目を分離し、2段目エンジンに正常に点火。2分48秒後にフェアリングを分離。
想定より西方向にルートがずれたため、3分7秒後に飛行中断。最高到達高度は、宇宙空間となる110.7km

見学方法	12月14日(土) 【延期】	12月15日(日) 【再延期】	12月18日(水) 【打上げ】
現地見学場（2ヶ所）	約5,000人	約2,500人	約1,000人
オフィシャルPVパートナー	約1,000人	約250人	約800人
Web配信（リアルタイム）	約3,000人	約1,200人	約8,000人

※上記はあくまで県公式チャンネルの動画視聴数であり、当該動画を転載しライブ配信を実施したチャンネルも多数確認され、初号機と比べると倍以上の視聴数であったと考えられる。例）Yahoo!ニュース運営チャンネル「THE PAGE」最大同時視聴数：約58,000人



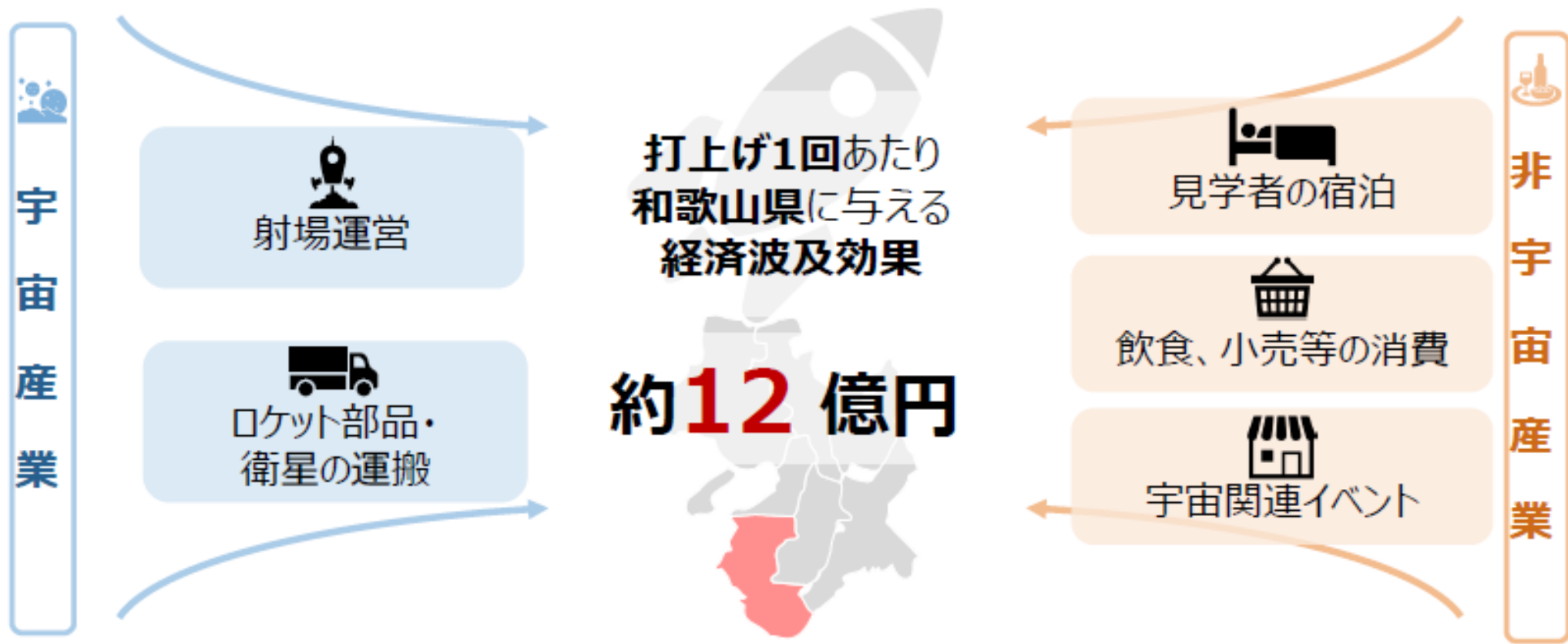
カイロスロケット2号機リフトオフ



カイロスロケット2号機飛行の様子



ロケット打上げがもたらす経済波及効果



出典 MUFG「スペースポート紀伊における打上げ経済波及効果」

串本古座高校 宇宙探究コース

串本古座高校 概要

- 2008年4月、統廃合によって和歌山県串本町に開校
- 生徒数：219名（2025年5月時点）
- 教育目標：地域資源と宇宙分野を活かした探究学習を通じ、地域や社会に貢献できる人材を育成

県立串本古座高等学校の位置



宇宙探究コースの活動について

- 2024年4月、「宇宙探究コース」を新設
- 同コースでは、1年生：6名、2年生：7名が入学
- 宇宙科学や技術を学ぶカリキュラムを実施
- 宇宙教育の専門的知識を持つ元JAXA職員を教員として採用



串本古座高校



宇宙航空工学授業



宇宙総合研究

宇宙シンポジウム in 串本

- 民間小型ロケット発射場の立地決定を契機に、**2019年**より、宇宙分野における最先端の有識者を招聘し、宇宙・ロケット・人工衛星などの理解を深め、機運醸成に向けたシンポジウムを串本町で開催
- 2022年より、県立串本古座高等学校の生徒が受付や司会などの運営や事例発表を実施
- また、シンポジウム前日には、制作・実験を通して、人工衛星や宇宙についての理解を深めるため、令和3年度から、県内の小・中学生を対象にした缶サット体験会を開催（東京大学の中須賀教授が監修）

【宇宙シンポジウムの様子】



県立串本古座高校生による受付



基調講演



県立串本古座高校生による事例発表



パネルディスカッション



R7チラシ

【缶サット体験会の様子】



缶サット落下実験



取組発表

Kii Space HUB

- 和歌山県内に、射場を核とした宇宙産業集積を目的とした取組
- 「産業集積の可能性を探るポテンシャル調査」「県内中小企業が新たに宇宙産業参入を目指すプログラム」「宇宙産業人材の創出を目的としたキャリアイベント」などを実施
- 日本の宇宙産業の課題である、サプライチェーン構築や宇宙産業人材創出に寄与する取り組みを推進することで、重要な役割を担う地域になることを目指す
- キックオフイベントでは、県内外から現地会場79名、オンライン126名の合計205名が参加

【ロードマップ】中長期の取り組み

令和7年度フォーカス

STEP 1

- 宇宙まちづくりポテンシャル調査
- 地域内企業における宇宙領域参入の
関心層掘り起こし
- 教育の裾野拡大

STEP 2

- 県内企業の宇宙産業への参入
- 県内若年層の宇宙産業参入・人材輩出
- 県内への宇宙産業誘致

STEP 3

- 県内既存企業の成長・県内宇宙産業拡大
- 県内若年層の県内宇宙産業での活躍
- 宇宙関連人口の拡大（ものづくり産業以外の幅広い業種・業態の参画）

和歌山県主催

和歌山県 0-1Booster SPACETIME

Kii Space HUB キックオフイベント

今、宇宙ビジネスが“自分ごと”になる。—宇宙ビジネスのリアルと入口

2025.6.12 [THU] 13:30~16:30 ※13:00開場 @Key Site
※オンライン配信あり

session 01	session 02
スペースポートを核とした “宇宙産業・まちづくり”の可能性	中小企業における 宇宙産業参入のリアル
 スペースワン株式会社 下瀬 滋 氏	 株式会社山紀陽徳 大坪 正人 氏
 ASTRO GATE株式会社 中尾 太一 氏	 ニシジマ機軸株式会社 西崎 真由 氏
 将来宇宙輸送システム株式会社 森 賢 将 氏	 スペースエントリー株式会社 松本 翔平 氏

【モデレーター】
一般社団法人SPACETIME
藤野 翔太 氏



Kii Space HUB (エントリーセミナー)

【実施概要】

- 開催期間 6月27日(金)～8月18日(月)
- 実施回数 全10回(オンライン開催8回、ハイブリッド開催1回、オフライン開催(串本)1回)
- イベント申込総数: 812名 当日参加者累計: 519名(1回平均52名)

Entry Seminar #1 宇宙開発概論

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

宇宙開発概論①
～必要性と地域で進めるべき取り組み～
―宇宙をめぐる国際情勢と我が国の宇宙開発体制―

2025.6.27 [金]
14:00 - 15:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

秋山 演亮氏
和歌山大学 学長補佐
イノベーションイニシアティブ基幹教授
共同利用・共同研究推進室長

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #2 宇宙産業・衛星産業概論

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

宇宙産業・衛星産業概論

2025.6.30 [月]
14:00 - 15:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

秋山 演亮氏
和歌山大学 学長補佐
イノベーションイニシアティブ基幹教授
共同利用・共同研究推進室長

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #3 衛星データ活用

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

衛星データ活用

2025.7.7 [月]
14:00 - 15:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

秋山 演亮氏
和歌山大学 学長補佐
イノベーションイニシアティブ基幹教授
共同利用・共同研究推進室長

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #5 宇宙を活用した事業創造！

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

宇宙を活用した事業創造！
宇宙ビジネスの可能性と参入の視点

2025.7.15 [火]
15:00 - 16:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

藤野 翔太氏
一般社団法人ASAPACITO
代表取締役 会長

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #8 宇宙産業参入への第一歩

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

宇宙産業参入への第一歩
―JAXAの実証プログラムの事例から読み解く―

2025.7.29 [火]
15:00 - 16:00 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

楊友哉氏
JAXA(宇宙航空研究開発機構)
研究開発部門 一級小型・小型衛星宇宙開発研究ユニット

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #6 衛星データがひらく未来

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

衛星データがひらく未来
―宇宙から始まるビジネスの第一歩と和歌山の可能性―

2025.7.16 [水]
15:00 - 17:00 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

村木 祐介氏
JAXA(宇宙航空研究開発機構)
衛星利用技術センター一級衛星利用推進室長

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #9 衛星ビジネスと中小企業の可能性

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

衛星ビジネスと中小企業の可能性
―技術から読み解く宇宙参入―

2025.8.7 [木]
15:00 - 16:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

柳田 幹太氏
株式会社エー・エス・エス
取締役 CEO

対象者: 県内企業(製造/加工/検査事業などを営む事業者)/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #4 “宇宙のまち”って何が起きる？

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

“宇宙のまち”って何が起きる？
―和歌山からはじまる地域の可能性―

2025.7.14 [月]
13:30 - 16:00 参加費無料
会場: Sora-Miru/和歌山県串本町(予定)

青木 英剛氏
宇宙エンジニアリスト
Space Port Japan 共同創業者

対象者: 自治体担当者・県内支援機関や経済団体、観光産業従事者など

Entry Seminar #7 ITベンダーのための衛星データ活用入門

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

ITベンダーのための衛星データ活用入門
―サービス開発と共創の可能性―

2025.7.23 [水]
15:00 - 16:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

金本 成生氏
株式会社スペースソフト
代表取締役

対象者: 県内企業(ITベンダー他)/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Entry Seminar #10 宇宙×〇〇で地域ビジネスを面白くする

Kii Space HUB
和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

宇宙×〇〇で地域ビジネスを面白くする
―小さな一歩から始める“宇宙”の取り入れ方―

2025.8.18 [月]
15:00 - 16:30 参加費無料
Zoom オンライン配信予定

藤井 涼氏
株式会社インテラティブ株式会社
代表取締役 社長

佐藤 将史氏
一般社団法人SPACEPORT
共同創業者 代表 CEO

対象者: 県内企業/行政機関/支援機関 など ※県外企業も参加可能です。

Kii Space HUB (ワークショップ)

Action Workshop

宇宙関連製造業
編

Kii Space HUB

和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

アクションワークショップ 「宇宙関連製造業×事業創造」

2025. 9.8 [月] 10.23 [木] 11.13 [木]

🕒 15:00 - 17:30 参加費無料

会場：Key Site (和歌山県和歌山市) (予定)

対象者：宇宙産業参入/宇宙関連ビジネスへの挑戦を希望する企業 ※一部制限あり



古友 大輔氏

株式会社たすく
CEO



0-1Booster

SPACETIDE

Action Workshop

衛星データ利活用
編

Kii Space HUB

和歌山は、宇宙と未来を繋ぐハブになる。

アクションワークショップ 「衛星データ利活用×事業創造」

2025. 9.9 [火] 10.24 [金] 11.14 [金]

🕒 15:00 - 17:30 参加費無料

会場：Key Site (和歌山県和歌山市) /一部オンライン (予定)

対象者：宇宙産業参入/宇宙関連ビジネスへの挑戦を希望する企業 ※一部制限あり



金本 成生氏

株式会社スペースシフト
代表取締役



0-1Booster

SPACETIDE

Kii Space HUB最新情報

メールマガジン



本事業のメールマガジンに登録いただいた方には、セミナーの募集開始情報や、今後開催予定のビジネスワークショップ、宇宙関連トピックス等、お役立ち情報をお届けします

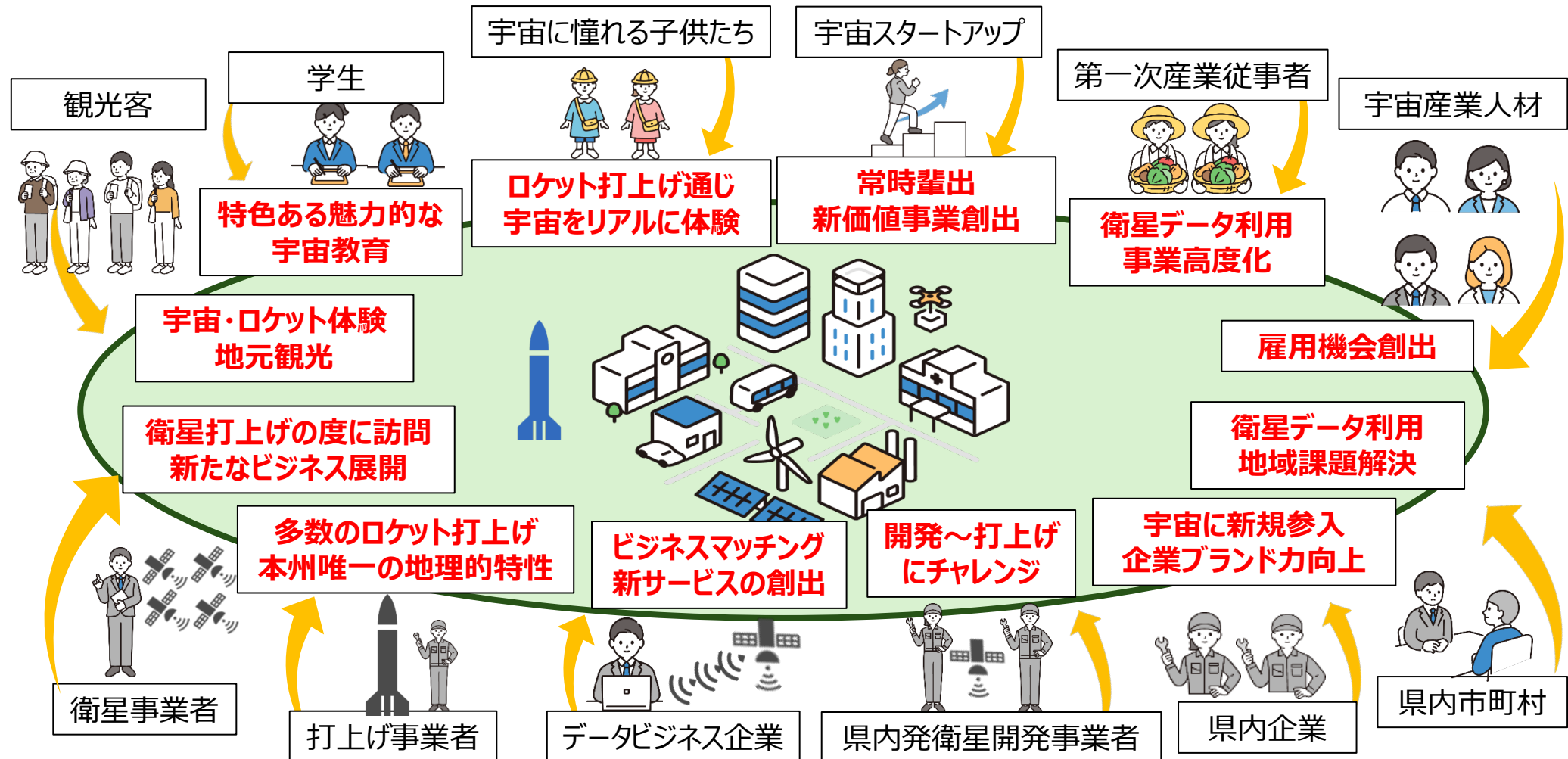
Facebook



Kii Space HUB公式SNSにて、イベント情報、宇宙関連トピックス等を発信しています

宇宙アクションプラン ～スペースエントランス構想～

- 2040年に、和歌山県が宇宙のまちとして目指す姿は、あらゆる企業や人が和歌山を通して宇宙と関わり、夢を実現していく未来。和歌山県は各ステークホルダーにとって、宇宙への玄関口『スペースエントランス』となることを目指す
- そのため、令和7年度に宇宙アクションプランを県内紀南10市町村と共に策定



取組むべき「重点推進テーマ」及び紀南地域への産業集積に向けて

- 和歌山県においては、民間ロケット事業を軸に、今後も**宇宙輸送**を重点推進していく。加えて、多岐に渡る宇宙産業の集積や地域ブランドの確立に向け、ハードでは**衛星製造**、**地上設備**、ソフトでは**衛星データ利活用**、また、**宇宙教育**、**産業人材**や元来の強みである**観光**についても宇宙と関連させ推進していくこととし、3本柱で7つの重点推進テーマを設定
- 重点推進テーマを軸に下記のとおり紀南10市町村※の産業集積の方針に基づき、地域全体での産業集積を推進**

ハード

ソフト

人材・観光

① 宇宙輸送	多様な民間ロケット事業が活況になる中、県内企業の宇宙産業への参入や県外企業の進出、射場関連設備の拡充等により輸送サプライチェーンを構築。	市町村	方針
② 衛星製造	県外企業の進出の他、県内企業が県民衛星プロジェクト等で技術力が向上し、宇宙産業に参入。来県する衛星事業者の再訪に繋がる滞在環境を整備。	田辺市	①②③市内企業の宇宙産業参入推進、サテライトITオフィス活用推進 ④熊野古道状況把握における活用 ⑤地元学生に対する宇宙教育の推進 ⑥県立田辺工業高校での宇宙人材育成 ⑦宇宙×歴史文化の推進、教育旅行でのコンテンツ活用等
③ 地上設備	ロケット・衛星運用や宇宙機器の検証・評価に必要な施設や設備が充実し、県内外の事業者による設備利用を契機としたビジネス機会を創出。	白浜町	①旧白浜空港跡地及び現南紀白浜空港の活用推進 ②③企業誘致 ④観光地活性化に資する新たなデータ利活用の創出、町内企業の宇宙産業参入推進 ⑦宇宙関連需要を踏まえた関東・東海圏等からの誘客促進
④ 衛星データ利活用	県内にベンダーが多数存在し、多種多様な地域課題の解決及び既存産業の高度化に貢献するとともに、国内外の市場を獲得する企業を輩出。	上富田町	①輸送サプライチェーンに資する工業団地の活用 ②町内企業の宇宙産業参入推進、衛星製造に資する工業団地の活用 ③環境試験等に資する工業用地の活用
⑤ 宇宙教育	児童・学生が宇宙に関する多くの学習・体験機会を享受し、将来にわたり宇宙分野に関心を持ち続け、地域の産業振興やイノベーション創出を牽引。	すさみ町	①②町内企業の宇宙産業参入推進、企業誘致 ③環境試験等に資する町有地及び民有地の活用 ⑦宇宙関連需要を踏まえた滞在型宿泊施設の活用、宇宙×地域資源のコラボ商品の開発
⑥ 産業人材	工業高校・高等教育機関や訓練施設でのデータ分析等の宇宙関連技術・ノウハウの習得により、宇宙産業を支える産業人材を安定的に輩出。		
⑦ 観光	ロケット打上げや宇宙関連施設、宇宙商品等の観光資源や施設が充実し、国内外に宇宙×観光＝和歌山と広く認知され、新たな地域ブランドが確立。		

※上記の他、新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町を含む10市町村が対象市町村

**「Kii Space HUB」を通じて、一緒に宇宙のまちを作りませんか。
企業の皆様からのご支援を心よりお待ちしております！**

和歌山県 商工労働部 企業政策局 成長産業推進課 産業人材班

担当：寺本、吉田、舩田

メールアドレス：teramoto_k0007@pref.wakayama.lg.jp
yoshida_k0042@pref.wakayama.lg.jp
masuda_t0004@pref.wakayama.lg.jp

電話：073-441-2355 FAX：073-432-0180

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1



和歌山県PRキャラクターきいちゃん

